

2009年9月24日 第35期 No. 6-399号

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syouthisyanokai.com/>

高齢社会への対応を探る会

高齢者を地域で支えるネットワークづくり

～あなたもキーパーソンに！～

10月3日(土) 午後1時～4時(無料)

*開場12時30分 手話通訳あり

けやきプラザ2Fふれあいホール

第1部 講演「ひとりの老後はこわくない」

講師 松原惇子さん

第2部 事例報告

(1) 社会福祉協議会を中心に見守りネットワークを自治会全体に構築した事例
報告者 湖北台地区 田中實さん

(2) 日常の暮らしが困難になった高齢者をキーパーソンのネットワークで支援した事例
報告者 市民 栗原洋子さん

(3) 公的なサービスだけでは支援が不十分なため、周辺の市民の支援も欲しい市からの事例
報告者 ケースワーカー大野令子さん

講演をしてくださる松原惇子さんの映画「わたしの葬送日記」はご覧になりましたか。ノンフィクション作家で、ひとり暮らしの人達の老後を支え合い、共同墓を作った方。話上手でもいらっしゃいます。事例発表もとても参考になると思います。是非お誘い合わせご参加ください。



10月定例会は5日

10月5日(月) 13:30～16:00

我孫子南近隣センター 8F第1会議室

定例勉強会として、会員の上原経子さんが緑のカーテン講習会の時考えた「地球環境クイズ」。

11月定例会の予告

11月2日(月) 13:30～16:00

我孫子南近隣センター 8F調理室

消費者庁が9月1日発足

ご承知のように、消費者庁が発足しました。悪質商法に対する相談・解決業務の充実はもちろんのこと、各省庁にまたがっていた消費者関連業務を一か所に集めて、消費者のために働いてくれる組織です。

9月1日からの11日分の消費者庁情報ダイヤルの受付件数は1,399件、この中の情報提供は247件。内訳は食品のカビ・食品への異物混入・連鎖販売・不当勧誘・誇大広告・内容量不足等、安全、取引、表示問題など、消費者を取り巻くあらゆる情報が寄せられ、解決を期待しています。

政権交替で新しい担当大臣も決まりました。今のところ、消費者庁の職員は、これまでの各省庁の担当だった方々ですが、机を並べ相談し合っているうちに、協力して解決策を見いだせるようになって欲しいものです。

官庁の組織を監視する消費者委員会も発足しました。一般消費者の目線で問題提起してくれる方々です。私たちも、この組織が動いてくれるよう、協力する必要があります。

電話 03-3507-9999へ。

県民提案事業への取り組み

千葉県の消費者行政推進室が、国からの消費者行政活性化基金を使って、消費者団体等が企画・運営する消費者向け事業を委託してくれることになりました。これは「千葉県消費生活基本計画」の具体化でもあります。

定例会で話し合って、応募することにしました。採用されるかどうかは未定ですが、今まで、講師料が出せなくて講演をしていただけなかった方の講演会とか、緑のカーテン講習会の充実した企画とか、2つくらい応募してみようかと応募用紙と格闘中です。消費者庁も含め、やっと消費者団体の役割の重要性が認められたのですから。

採用された場合、皆さんのご協力をよろしくお願いします。

体細胞クローン技術について

国の食品安全委員会は、「体細胞クローン技術を用いて産出された牛及び豚並びにそれらの後代に由来する食品」の肉を食用にすることの安全性を認めました。

しかし、現在の技術水準では生産率が極めて低く、商業生産への利用は見込まれない状況で、農林水産省は、研究は続けるが一般の食用とはせず、研究機関からの報告を徹底させ、適切に処分させることを6月25日に決めました。ひとまず、ほっとしています。

遺伝子組換えも含め、生命の操作は慎重にと思います。今後も監視していく課題です。

てっぽう漬けの原産地

成田の土産物で有名ですが、我孫子にもてっぽう漬けを作っている方がいます。ご存知でしょうか。

県産品推奨審査会というところに、このてっぽう漬けが出品されました。瓜やきゅうりの原産国が今年には日本になっていました。一昨年までは、フィリピン産や台湾産でした。それを県産品として推奨することに違和感があり、価格がどのくらい違うのかと聞いた憶えがあります。それから日本産の瓜を探し回ってくださったとのこと。柏産と埼玉産で何

とかできたとおっしゃっていました。我孫子で作ってくれる人がいれば良いのに、と思ったことでした。

総会時の市民活動紹介から

(発表順に報告を続けます)

⑧ 我孫子市石けん利用推進協議会

1970年代に始まった消費者による石けんを広める運動は、安全を他に求めるだけでなく、自分達の生活を見直し自分達が加害者とならない生活をめざす運動へと発展しました。審議会で提案された「我孫子市石けん利用推進要綱」の中に、実行組織としての「我孫子市石けん利用推進協議会」を位置づけました。

現在の会長は竹中真里子さん。石けん販売店の調査・申し入れ、各種イベントでの啓発活動、消費生活展への参加、保育園や若い家族への講習を含めた啓発等を行っています。

石けん洗剤工業会からの圧力を受けたこともあります。環境庁が作ったPRTTR法にはっきり合成洗剤の害が書かれて、私たちは一層啓発活動を進めていく気持ちを再確認しています。事務局は市・消費生活指導係。

⑨ 我孫子市民活動ネットワーク

我孫子市内の各種市民活動が参加し、共通の問題点解決や情報交換、交流、市長懇談会、市の関係課との意見交換会等を開いています。3月末で、55団体、個人11人。会報ACNWを発行。

我孫子市、我孫子市社会福祉協議会と協働する団体として、市民活動のネットワーク化が求められ、発足しました。

我孫子市は市民活動が盛んな街として知られていますが、メンバーの高齢化が進んでいることも事実。市の補助金に頼らないよう自立する方策は？新しい会員を増やす法？等、各団体が抱えている問題もあり、上記のような活動を行っています。消費者の会からは遠藤洋子さんが担当委員となっています。

～ ～ ～ ～ ～

花王のエコナッキングオイルが、発ガン性物質に変わる恐れが指摘され、販売中止に。安全性問題の疑問を改めて感じています。